

# 笛吹市 議会だより

平成29年4月24日発行

## 2017 Vol.50

祝 笛吹八代スマートインターチェンジ開通



### 一般会計当初予算 ④

山下市長・施政方針 ②

10人が一般質問 ⑬

提出案件一覧表 ③

委員会レポート ⑫

5会派が代表質問 ⑥

市民リレートーク/編集後記 ⑭



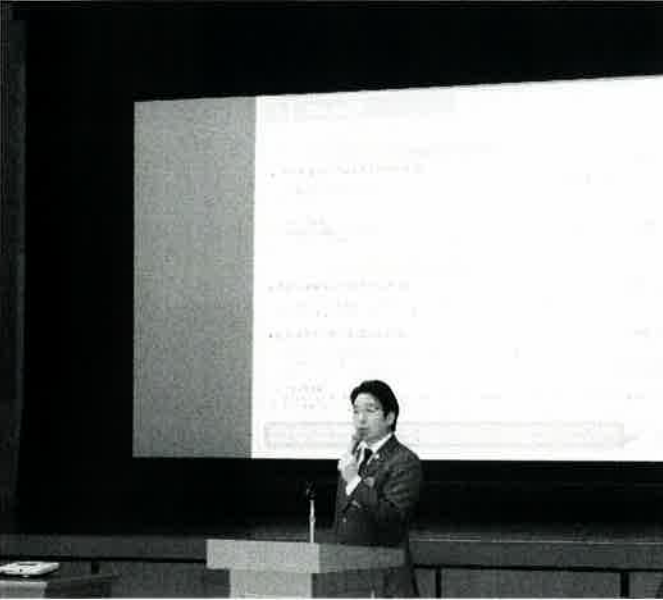
FUEFUKI CITY



# 山下市長の施政方針

## 「ハートフルタウン・笛吹」の 実現に向け全力で取り組みます！

地方交付税の縮減の中、自主財源の確保に努めると同時に、限られた予算の中で創意工夫を重ね、効率的な予算配分を行いました。29年度は私が提唱している「ハートフルタウン・笛吹」の実現に向け、具体的アクションを起こすスタートの年です。中長期的視点に立ち、さらに徹底した行財政改革を進めるため、全力で取り組んでいきます。



### 市政推進3つのまちづくり

#### 1 幸せ実感 心豊かに暮らせる街

- ①安全・安心の確保
- ②子育て支援の充実
- ③学びの環境の充実
- ④地域づくりの促進

#### 2 新たな農業 実り 豊かなブランド農業

- 1. 販売力の向上
- ・世界農業遺産登録事業

#### 3 観光再生 また訪れたくなる街

- 1. 温泉郷の活性化
- ・海外誘客促進インバウンド推進事業
- ・石和温泉街周辺活性化事業
- ・笛吹物語

#### 4 その他の重点事業

- ①地方創生への取り組み
- ②安心して暮らせるまちづくり
- ③快適な生活基盤の整備

平成29年度は、20年4月から10年間で計画期間とした「第一次笛吹市総合計画」の目標年度です。来年度は「第二次笛吹市総合計画」を策定するため、時代の流れをしっかりとつかんだ計画策定を進めます。

3月定例議会における  
山下市長の施政方針を  
要約したものです。

### 3月議会・会期日程

2月15日(水)

議会運営委員会

全員協議会

2月22日(水)

開会

本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・市長施政方針

・提出議案の説明

・大綱質疑・付託

2月24日(金)

代表質問

2月27日(月)～28日(火)

一般質問

3月2日(木)～3日(金)

各常任委員会

付託事件審査

3月8日(水)

議会運営委員会

・全員協議会・本会議

・各委員会の審査報告

・質疑・討論・採決

3月9日(木)～10日(金)

14日(火)

各常任委員会

付託事件審査

3月17日(金)

議会運営委員会

・全員協議会・本会議

・各委員会の審査報告

・質疑・討論・採決

閉会

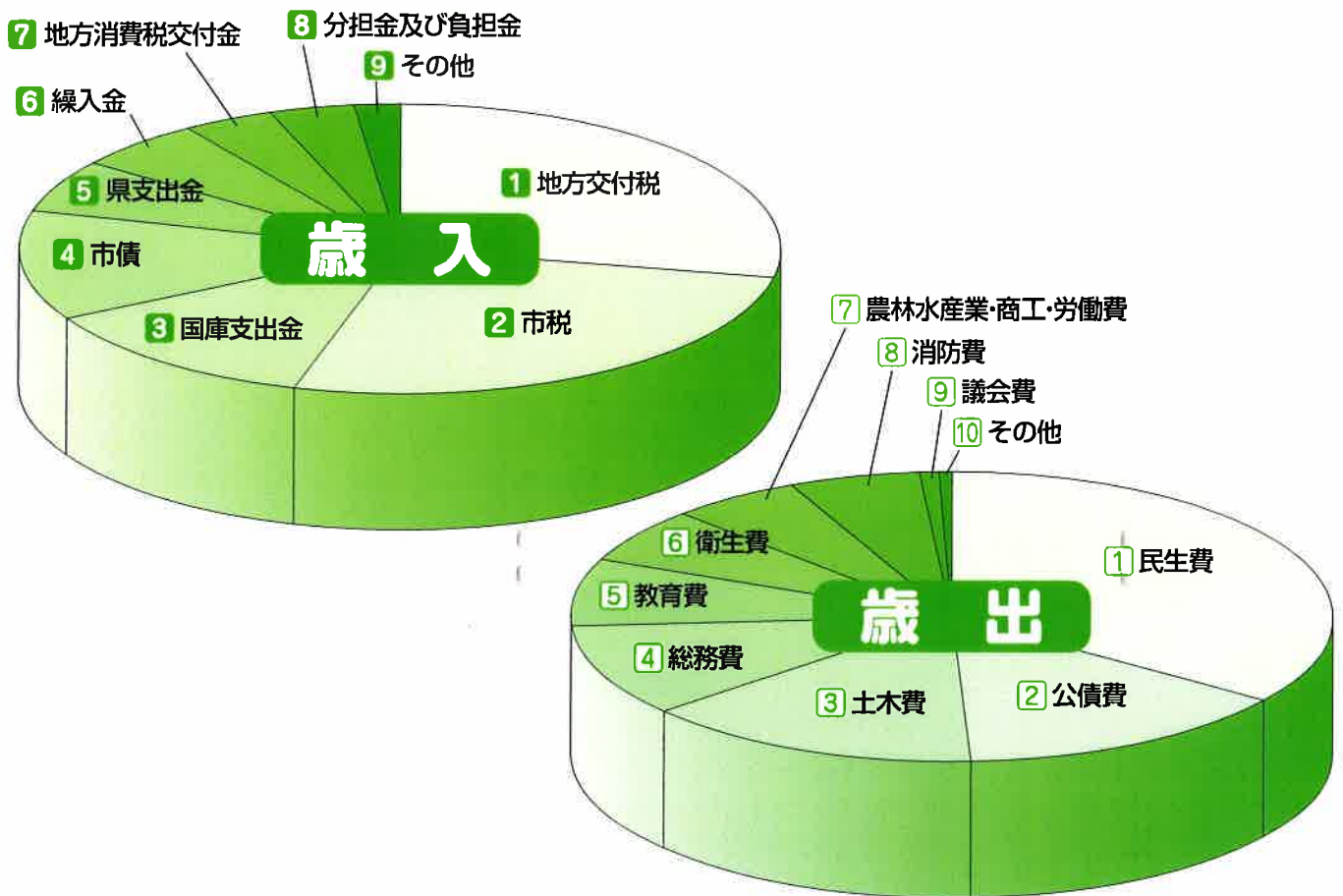
# 平成29年3月定例議会提出案件一覧表

(海野利比古議長を除く)  
○賛成 ●反対

種別	案件名	苗新会					誠和会			公明党	苗政クラブ		日本共産党	結果									
		海野利比古	保坂利定	野澤今朝幸	北嶋恒男	荻野謙一	岩沢正敏	神宮司正人	神澤敏美	武川則幸	小林始	中村正彦	古屋始芳		河阪昌則	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	渡辺正秀	河野智子
条例制定改正	・市消費生活センター条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
	・市個人情報保護条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市職員の育児休業等に関する条例及び苗吹市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市税条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市都市計画税条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市敬老祝金支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・市介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・市商工振興災害対策資金貸付条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・市都市公園条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
28年度補正予算	・一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市営春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・公共下水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
29年度当初予算	・一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・介護サービス特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・農業集落排水特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・境川観光交流センター特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区ほか8管理会特別会計予算 （大禰寺山・稲山・牛ノ顔・大口山・崩山・名所山・春日山・兜山外五山）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
・市営春日居地区温泉給湯事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
・公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
その他	・東山梨行政事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	・甲府市、山梨市及び甲州市に公の施設を使用させることに関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・甲府市の公の施設の使用に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・市道認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事	・土地売買契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	・契約の締結（渋川排水機場ポンプ設置整備工事（債務））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・人権擁護委員の候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	・黒駒山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	・兜山外五山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	・稲山恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	・子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議	・子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	・子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

対前年比 21億1,556万円減 6.4%減

# 311億1343万円を可決



歳入

歳出

(単位:千円)

科目	金額	構成比	科目	金額	構成比	1人当たり
1 地方交付税	87億7,740万0	28.2%	1 民生費	108億6,104万6	34.9%	15万4
2 市税	82億4,556万4	26.5%	2 公債費	45億1,278万2	14.5%	6万4
3 国庫支出金	38億7,903万6	12.5%	3 土木費	44億6,428万1	14.4%	6万3
4 市債	37億4,600万0	12.0%	4 総務費	31億7,730万7	10.2%	4万5
5 県支出金	18億1,838万4	5.8%	5 教育費	23億1,520万3	7.4%	3万3
6 繰入金	18億0,798万2	5.8%	6 衛生費	19億0,333万4	6.1%	2万7
7 地方消費税交付金	11億5,430万0	3.7%	7 農林水産業・商工・労働費	17億5,483万2	5.7%	2万5
8 分担金及び負担金	5億8,837万5	1.9%	8 消防費	17億4,577万5	5.6%	2万5
9 その他	10億9,639万2	3.6%	9 議会費	2億1,855万8	0.7%	3
計	311億1,343万3	100.0%	10 その他	1億6,031万5	0.5%	2
			計	311億1,343万3	100.0%	44万2

人口: 70,353人 [外国人含] (平成29年3月1日現在)

# 3月定例議会 29年度当初予算 〈特別会計〉

## 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

歳入			歳出		
国民健康保険税	21億1,483万4	20.2%	保険給付費	61億3,648万8	58.6%
国庫支出金	22億5,533万1	21.5%	後期高齢者支援金等	11億0,676万8	10.6%
前期高齢者交付金	21億3,796万5	20.4%	共同事業拠出金	24億5,124万3	23.4%
共同事業交付金	24億5,124万1	23.4%	介護納付金	4億7,232万1	4.5%
その他	15億1,280万8	14.5%	その他	3億0,535万9	2.9%
合計	104億7,217万9	100.0%	合計	104億7,217万9	100.0%

## 介護保険特別会計

歳入			歳出		
支払基金交付金	17億1,140万5	27.0%	保険給付費	60億0,779万7	94.8%
国庫支出金	15億0,279万9	23.7%	総務費	1億3,181万3	2.1%
介護保険料	12億4,701万3	19.7%	地域支援事業費	1億8,702万0	3.0%
繰入金	10億1,715万2	16.1%	その他	911万3	0.1%
県支出金	8億5,716万1	13.5%			
その他	21万3	0.0%			
合計	63億3,574万3	100.0%	合計	63億3,574万3	100.0%

## 介護サービス特別会計

歳入			歳出		
サービス収入	1,742万7	91.8%	事業費	1,833万8	96.6%
繰越金	156万1	8.2%	総務費	0	0.0%
諸収入	0	0.0%	予備費	65万0	3.4%
合計	1,898万8	100.0%	合計	1,898万8	100.0%

## 後期高齢者医療特別会計

歳入			歳出		
後期高齢者医療保険料	5億1,787万9	36.7%	後期高齢者医療広域連合納付金	13億8,952万5	98.6%
繰入金	8億9,079万3	63.2%	総務費	1,879万9	1.3%
その他	166万0	0.1%	諸支出金	200万8	0.1%
合計	14億1,033万2	100.0%	合計	14億1,033万2	100.0%

## 農業集落排水特別会計

歳入			歳出		
使用料及び手数料	760万2	17.4%	公債費	2,926万8	67.1%
繰入金	3,600万0	82.6%	農業集落排水事業費	1,353万1	31.0%
その他	3	0.0%	総務費	80万6	1.9%
合計	4,360万5	100.0%	合計	4,360万5	100.0%

## 簡易水道特別会計

歳入			歳出		
使用料及び手数料	312万6	20.9%	水道費	961万5	64.4%
繰入金	1,180万7	79.1%	公債費	422万5	28.3%
繰越金	1	0.0%	総務費	79万5	5.3%
その他	1	0.0%	予備費	30万0	2.0%
合計	1,493万5	100.0%	合計	1,493万5	100.0%

## 境川観光交流センター特別会計

歳入			歳出		
分担金及び負担金	3,433万4	73.5%	総務費	4,669万4	100.0%
使用料及び手数料	1,200万0	25.7%			
諸収入	36万0	0.8%			
合計	4,669万4	100.0%	合計	4,669万4	100.0%

## 水道事業会計

収入			支出		
収益的収入	16億4,421万9	73.9%	収益的支出	16億4,421万9	58.4%
資本的収入	5億7,946万7	26.1%	資本的支出	11億6,964万8	41.6%
合計	22億2,368万6	100.0%	合計	28億1,386万7	100.0%

※不足額は補てん財源で措置

## 春日居地区温泉給湯事業会計

収入			支出		
収益的収入	6,069万9	100.0%	収益的支出	6,069万9	70.8%
資本的収入	0	0.0%	資本的支出	2,508万6	29.2%
合計	6,069万9	100.0%	合計	8,578万5	100.0%

※不足額は補てん財源で措置

## 公共下水道事業会計

収入			支出		
収益的収入	19億9,019万7	65.7%	収益的支出	19億9,019万7	52.4%
資本的収入	10億4,089万9	34.3%	資本的支出	18億0,692万1	47.6%
合計	30億3,109万6	100.0%	合計	37億9,711万8	100.0%

※不足額は補てん財源で措置

黒駒山外8財産区管理会特別会計 歳入 4,577万5 歳出 4,577万5

- 笛新会 保坂 利定議員 …6
- 誠和会 小林 始議員 …8
- 公明党 渡辺 清美議員 …9
- 笛政クラブ 前島 敏彦議員 …10
- 日本共産党 渡辺 正秀議員 …11

# 3月 定例議会 市民の声 代表質問

3月定例議会では、5会派を代表して5人の議員が代表質問に立ち、23項目について市当局の考えをたどりました。以下の記事は代表質問と答弁を要約したものです。



笛新会

保坂利定 議員

## 問 市政運営の基本は

**保坂利定議員** 就任時に示した3本柱の最重要施策は、新年度予算にどのように反映されているのか。

の「観光再生、また訪れたくなる街」として、「石和温泉街周辺活性化、海外誘客促進インバウンド推進」等に取り組み。

## 答 市民ファースト

**山下政樹市長** ハートフルタウン・笛吹の実現を目指し、3つのまちづくりの方向性を掲げた。29年度は、一つ目の「幸せ実感、心豊かに暮らせる街」として、「多世代包括ケア情報クラウド化推進、サテライトオフィス促進、学校給食センター建設、四日市場団地建て替え」等を、二つ目の「新たな農業、実り豊かなブランド農業」として、「世界農業遺産登録、新規就農者支援」等を、三つ目

## 問 新年度予算編成は

**保坂議員** ①基本方針は。

- ②歳入で中期財政計画を見つめた計上は。
- ③職員適正化計画は。
- ④少子高齢化など社会保障、扶助費への影響は。
- ⑤地方債計画の内容は。
- ⑥合併特例債の活用状況と今後の計画は。
- ⑦繰出金の増加要因と中期財政計画は。

## 答 5年間で最もスリムに

**山下市長** ①行財政改革のスタートの年と位置づけ選択と集中を基本に編成。一般会計は前年度より約21億減、28年度決算見込み額より約29億円減のスリムな予算になった。

- ②都市計画税の課税猶予や、普通交付税の段階的縮減を考慮し予算計上。基金繰入金、地方債は抑制。
- ③30年度の目標は598人。29年4月1日現在、601人。
- ④保育単価の上昇、高齢者地域密着型サービス事業の充実、医療費の増加等、当面扶助費が増加見込み。
- ⑤市債総額で37億5千万円、臨時財政対策費11億円、合併特例債23億2千万円等を予定。
- ⑥消防署出張所や学校給食センターの建設事業に充当予定。特例債の借入限度額387億円、期間は31年度まで。借入可能残額の82億円を有効活用したい。
- ⑦少子高齢化の影響で、社

## 問 行財政改革の課題と進捗状況は

**保坂議員** ①市税収納率の現状と課題は。

- ②行政評価制度の効果と運用状況は。
- ③実質公債比率、経常収支比率、将来負担比率は。
- ④市民に分かりやすい事務事業評価と事業仕分けは。

## 答 全庁体制で取り組む

**山下市長** ①市税収納率は交付税の配分に影響。収納率向上に努め、管理職による未納世帯訪問を実施。

- ②施策・事務事業評価を行い、課題を抽出し次年度に活用している。
- ③27年度の実質公債比率は13.4%、特例債発行期限以降は若干低下、経常収支比率は臨時的経費の減少により上昇、将来負担比率は33年度以降上昇。
- ④貢献度や成果指標を評価し、毎年度改善している。

透明性が保たれるよう情報を公開していく。

**問** **まち・ひと・しごと創生総合戦略は**

**保坂議員** ①重要施策と財源確保は。

②重要業績評価指標は。

**答** **各種の支援策を**

**山下市長** ①地方創生推進交付金や企業版ふるさと納税等を活用し、子育て支援や農業者支援、温泉街周辺の活性化へ向けた取り組みを進め、暮らしやすい、住みたいまちづくり事業を推進。

②27年度の事業効果は「おおむね地方創生に効果があった」と外部有識者による評価を得た。

**問** **都市計画税は**

**保坂議員** ①基本認識と今後の方向性は。

②市民合意を得るための取り組みは。

**答** **貴重な財源**

**山下市長** ①合理的な土地利用のため、都市計画税による財源確保は重要課題。

1年間の猶予期間を設け市民の理解を深める。

②事務事業の見直し、歳出削減などの行政が自ら身を切る改革を徹底して市民の理解を得たい。

**問** **NTT用地は**

**保坂議員** ①交渉における課題は。

②土地開発基金の特定目的の事業は。  
③活用策に対する市民の理解は。  
④ミズベリリング構想、29年度の事業計画は。

**答** **市の発展に必要な**

**山下市長** ①土地環境の確保、埋蔵物の対処、瑕疵期間、購入金額等の課題を解決し、今議会に契約案件が提出できるよう努めている。

②1年から2年をかけ、利

活用目的を決めたい。

③労働橋を含む周辺交通網整備は早急に進める。購入後、より良い活用策を決定する。

④国直轄事業で鶴飼橋上流に親水護岸を3年で整備。昨年好評を得た事業に加え、水辺やまちの賑わいを創出する取り組みに努める。

**問** **第1次総合計画の**

**保坂議員** ①人々の交流を盛んにする仕組みは。

②もてなしの心あふれる観光地は。  
③桃、ぶどう日本一を誇れる安定した農林業は。  
④災害に強いまちづくりは。  
⑤人が行き交う道、交通ネットワークは。  
⑥安心して生み育てる環境は。

⑦高齢者が元気で暮らせる環境は。

⑧子どもの個性を尊重する学校は。

⑨いつでも、どこでも、だれでも学べる環境は。  
⑩身近にスポーツを楽しめる施策は。

⑪地域文化の育成、伝承は。  
⑫親しみやすく機能的な市役所は。

**答** **実現に向け努める**

**山下市長** ①移住定住・都市農村交流事業、クールジヤパン戦略の推進、国際交流・地域間交流に努める。

②四季を通じて何度でも訪れていただけを目的地とする観光地を目指し市民の皆様とともに進めるとともに、温泉街を街歩きするための仕掛けづくりのため、桜温泉通りのソメイヨシノ改植、近津川・駅前イルミネーションの充実に取り組み。

③ブランド力の向上・共選所統合支援、11カ所の農業施設整備事業、鳥獣害対策等に取り組み。

④自主防災組織の強化、備蓄整備などに取り組み。  
⑤地区要望498件に対し、194件を実施、事業費5億2,620万円。インフラの老朽化は計画に沿って、対策を講じていく。交通バリアフリーは市道が4割ほどの進捗状況。

⑥子育て相談窓口の強化、「ふえふき子育て広場」の本格運用による電子母子手帳の機能強化、就学援助金を平成30年度入学者から入学前に支給、4月からの保育料と学童保育料を対象に寡婦控除のみなし適用実施、待機児童対策等を推進。

⑦地域包括支援センターを3カ所に拡充。3月から利用者負担を抑えた訪問型Aと通所型A事業を開始する。  
⑧就学支援、教職員の指導力向上、学校サポーターの配置など、学校教育ビジョンの具現化に努めている。

⑨公民館の新設や大規模改修には補助制度を設置。  
⑩体育協会やスポーツ少年団との連携、各種大会の誘致などに取り組み。

⑪甲斐国分寺跡の保存整備、俳句の里づくりとして、小中学生俳句会、蛇笏・龍太の俳諧堂復元事業支援。

⑫効率性を高めながら行政サービスの向上に努める。29年度、支所機能は現状を維持しながら、さらに検討していく。

代表質問



誠和会

小林 始 議員

問 施政方針と当初予算は

小林始議員 ①「ハートフルタウン・笛吹」実現に向け、29年度に取り組む事業は。

- ②重点配分を行った事業は。
③縮小・削減・廃止した事業は。
④職員・臨時職員の人数と増減、人件費の総額は。
⑤今後の財政運営の基本は。
⑥部局別一般財源枠配分の原案決定段階から、15億円

答 重点配分と見直しに努める

山下市長 ①多世代包括ケ

ア情報クラウド化推進、地域包括支援センター運営、俳句の里作り、農産物等消費拡大宣伝、農業用機械補助、インバウンド推進事業等に取り組み。
②消防出張所庁舎整備、防犯灯設置維持管理、市営四日市場団地建て替え、学校給食センター建設、企業立地推進事業等に重点配分。
③あらゆる事業を見直し事業費を縮小。業務委託等で臨時職員の賃金を2、900万円、高圧電力の契約一本化で約3、100万円、健康診査・がん検診の対象年齢見直し等で1、200万円を削減。国で定めた給付金支給事業等は単年度で廃止。
④27年度、正規職員622

人、臨時・嘱託職員365人。29年度見込み、正規601人、臨時358人。合計で28人の削減。人件費は27年度決算で約55億5千万円、29年度当初予算で約53億7千万円、約1億8千万円の削減。
⑤普通交付税の段階的削減で、今年度約3億円の減額見込み。一般会計では事業費を見直し、特別・企業会計では料金改定を進め、市全体の財源確保を基本に考えていく。
⑥13億円は臨時財政対策費で、普通交付税の身代わりと認識。残り2億円は予測できない制度改正に伴うもので、先を見通し、ずれのない配分に努める。
⑦誠意を持って地権者と用地交渉し、来年度の早い時期に完了したい。県道への接続工事は、30年度末の完成を目指す。
⑧土地利用は断念したが、要望のあった農業基盤整備などの振興策転換が、4市の協議会で確認された。今後、協議を早急に進め、具体的な対応を図っていく。

問 NTT用地の取得は

小林議員 ①取得する目的は。

- ②前回契約との違いは。
③未利用地の処分計画と用地取得優先理由は。
④事業実施段階での買い戻し時期と財源は。
⑤用地購入に伴う歳入減は。
⑥市民合意は。
⑦新たな公有地取得は妥当なのか。

答 まちづくりが必要

山下市長 ①経済の活性化、交通の利便性など、市のまちづくりに必要な用地と考えている。
②売買金額・瑕疵担保期間の変更、埋設物等の扱いと歩道整備工事の負担割合、土壌調査のNTT側の実施について再度協議し、3月初旬の仮契約に向け手続きを進めている。
③「源泉足湯広場」・「八田御朱印公園隣接地」は、NTT用地との相乗効果が図られる方策を検討してい

る。交通網整備に当該用地の一部が必要で、NTT用地全体を土地開発基金で先行取得したい。
④1、2年の協議で活用策が決まり次第、補助金・交付金・合併特例債・社会資本整備交付金等を活用し、基金財産から買い戻したい。
⑤固定資産税が年間3百数十万円減収、NTTドコモ所有施設の占有料収入を約150万円見込む。
⑥区長会・地域審議会・市民座談会を通じ、おおむね賛成を得られている。
⑦J R石和温泉駅に近く、まちづくりの原動力として必要な用地であり、他にはない重要な土地と認識している。

問 笛吹市総合戦略は

小林議員 ①28年度末までに実施した事業は。

- ②繰り越しと新年度実施を見込む事業は。
③事業の評価制度は。
④医療・介護連携情報クラウド化事業は。
⑤子育て情報クラウド化事



業は。

### 答 活用 地方創生交付金を

**山下乡長** ①27年度、海外誘客促進、観光・防災情報アプリ作成、海外観光プロモーション事業などを実施した。事業費約1億1、800万円。28年度、多世代包括ケア情報クラウドの加速化、笛吹川エクスペリエンス・オブ・ジャパン推進事業などを実施中。

②多世代包括ケア情報クラウド化推進に150万円、農業用機械補助に1、240万円、新規就農者支援に840万円、海外誘客促進インバウンド推進に450万円、石和温泉街周辺活性化に1、800万円、企業立地推進事業に6、200万円等。繰越事業はない。

③総合戦略会議での外部有識者による評価をホームページで公開した。

④医師、看護師、介護支援専門員など39人がアカウン卜登録。これまで患者5人の在宅医療支援など、多職

種間の情報連携に利用された。

⑤スマホやタブレット端末を活用した「ふえふき子育て広場」の試行運用を実施中。約150人が登録、4月からの本格運用に向けシステムを最終調整。

### 問 公営企業部の事業は

**小林議員** ①上下水道事業の問題点と改善策は。

②下水道事業の企業会計化による課題と対応策は。

③春日居地区温泉給湯事業の課題と今後の計画は。

④簡易水道・農業集落排水と、水道事業および公共下水道事業との使用料の差額についての考えは。

### 答 使用料の見直しが必要

**山下乡長** ①一般会計による赤字補填に頼らざるを得ないのが現状。昨年度の審議会答申に基づき、3年以内の料金改定を目的に、適切な時期と料金体系について検討したい。

②上水道と同じく、使用料

単価が汚水処理原価を下回っている。自立した運営、経営基盤強化のため使用料改定の検討が必要。

③湧出量に変化はないが、泉温が低下傾向にある。配湯管の劣化など施設調査の

実施を検討する。

④芦川地区は使用料収入だけでの経営は困難。一般会計からの繰り入れが必須。審議会の意見を聴きながら、使用料格差の是正に向けた見直しを図る。



公明党

渡辺清美 議員

### 問 地方版総合戦略の推進は

**渡辺清美議員** 地方創生の一層の深化が図られる中、本市の地方版総合戦略に基づく雇用創出、観光振興、移住促進など先駆的な取り組みが重要。

①総合戦略の今後の取り組みは。

②地方創生には、若い世代が集まる流れを作ることが重要。移住促進につながるものが期待される空き家バンクの現況は。

③国は、空き家を低所得者

### 答 多面的に施策展開

向け賃貸住宅に改修する費用を補助し、入居者の家賃を補助する新制度を検討している。本市の対応は。

**山下乡長** ①笛吹市まち・ひと・しごと創生総合戦略

は、国の交付金を活用して働く女性を支援する多世代包括ケアシステムの構築、基幹産業の一端を担う観光産業とインバウンド対応な

ど、雇用と収入の安定、向上に向け取り組んでいる。

②26年5月に空き家バンク設置。15件が登録、3件が成約、8件が登録取り消し、現在は4件が登録されている。物件が少ないのが実情。

③住宅セーフティネット法改正案が閣議決定された。示される制度内容を確認し、多面的な視野から検討したい。

### 問 介護予防・日常生活支援総合事業は

**渡辺議員** 全国一律の基準による運営から、自治体の裁量が認められ、介護予防・日常生活支援総合事業への移行作業が大詰めを迎えている。総合事業は住民が住みなれた地域で安心して暮らせる、地域包括ケアシステムの一角を担う制度。円滑な移行が欠かせない。

先行自治体では基準を緩和し、介護資格のない人も担い手を広げ、従来はできなかった多様なサービスを提供している。本市の取り組みは。

## 代表質問

### きめ細かなサービスを目指す

**山下市長** 介護予防法改正に伴い、要支援1、2の高齢者を対象にした訪問介護と通所介護が、介護予防・日常生活支援総合事業に位置づけられ、市町村の地域支援事業となった。現行の訪問介護員によるサービスやサービスセンター等による通所型介護に加え、3月からサービス提供者の基準を緩和することで、利用者負担を抑えて実施する訪問型サービスAや通所型サービスAがスタートする。

将来的にはボランティアが高齢者のごみ出しなど、軽度な支援を行う訪問型サービスBや、地域住民が空き家施設を利用して高齢者の交流サロンを運営する通所型サービスBの提供など、きめ細かなサービスの実現が期待される。

### 水道施設の水質安全対策と耐震化は

**渡辺議員** ①水道台帳の整備状況は。

②管路の更新率は。早急に更新すべき鉛管とアスベスト管の交換状況は。

③耐震化率と今後の計画は。

④アセットマネジメントの実施は。

### 更新・整備に努める

**山下市長** ①資産台帳があるが、より詳細な管理のため、水道施設設備台帳として水道管路台帳等の整備を進めている。

②管路の総延長は約65万4千m。来年度の更新は約3千5百m、更新率0・54%。石綿管が2、592m残っている。29年度に更新・廃止予定は285m。鉛管はない。

③27年度末の耐震化率は9・5%。現在布設・布設替えしている送・配水管はすべて耐震管を使用。

④中長期的な視点で、更新需要や財政収支の見直しを立て、水道施設の健全性を

更新事業の必要性・重要性の説明責任を果たすことができるアセットマネジメント（資産管理）は必要。持続可能で信頼性の高い水道事業運営が実現できるように、調査・検討していく。



菅政クラブ

前島敏彦 議員

### 29年度予算の重点施策・事業は

**前島敏彦議員** ①28年度と比較して、新年度予算の特徴は。

②重点施策・事業は。

③財政全体の徹底した見直しと節減、身を切る改革姿勢が予算編成に現れているか。職員への意識改革の浸透は図られているのか。

④観光と農業を結びつけた実効性ある施策は。

⑤これまでの市政課題の分析を、予算編成や施策に反

⑤峡東3市で構成する、琴川ダム水を利用した水道水供給事業を行う峡東地域広域水道企業団で連携している。地理的条件等もあり、事業統合は難しい。

映させているのか。市民ファーストの取り組みは。

### 選択と集中を心がけた

**山下市長** ①行財政改革スタートの年と位置づけ、予算編成した。28年度より21億1千万円少ない311億1千万円となり、過去5年間で最もスリムになった。

②今後、自主財源の確保が難しくなることを念頭に置き、消防出張所庁舎整備事

業など25事業、総額15億9千万円を計上した。

③健全な財政運営には人員削減だけでなく、事業費・施設保有量の削減など身を切る改革を断行する必要がある。事業の優先度を反映させた選択と集中により、緊縮型の予算を編成した。

④来年度以降、地域資源を磨き上げ、滞在型観光地を目指す「田舎リゾート構想」を考えている。

⑤人口減少対策が重要課題。地方創生をテーマに、将来を見据えた行財政運営に努める。議会をはじめ区長会や地域審議会など、各種団体や地域に市長自らが向き、幅広く意見を伺い、行政が何を求められているのかしっかりと把握し、市政運営に努める。

### 幸せ実感、心豊かに暮らせるまちは

**前島議員** ①待機児童ゼロの体制づくり、保育士の人材確保は。

②病児・病後児保育の拡大は。

③学力の二極化と対策は。



### 答 人材の育成と確保に努める

**山下市長** ①現時点で待機児童はいない。公立保育園は改修による増設で、未満児の受入れ拡大を図っている。学童保育の教室利用等も検討。処遇改善を行い保育士の確保に努める。

②県による広域利用の調整に期待している。

③現在、市内の学校で顕著な学力の二極化傾向は見られない。新学習指導要領の内容を検討し、社会の一員として活躍できる人材育成につながる教育を目指す。

### 問 観光の再生は

**前島議員** ①「また訪れたくなる街」実現の方向性は。

②観光振興ビジョン、アクションプランの検証と次期の計画は。

③市長の観光再生への熱意を伺う。

### 答 地域資源を磨き上げる

**山下市長** ①団体旅行から

小グループ旅行に、見学型から体験型に、旅行の形態がシフトしている。笛吹物語プロジェクトチームを立ち上げ、市内の各種資源を磨き上げたい。

②アクションプラン推進会議で、地域資源の活用、インバウンド観光の推進、ユニバーサルデザインの推進、情報発信の強化、季節ごとのターゲットづくりの主要5項目が、次期観光振興計画策定に向け答申された。広域連携の推進と景観保全・活用の2項目を加え具体的な施策を決定した。

③「また訪れたくなる街 笛吹市」を将来像に、笛吹物語、田舎リゾート構想を軸とした、気軽に繰り返し訪れたい観光地をつくりあげたい。

### 問 農業施策は

**前島議員** ①新規就農に対する支援は。

②農地集積、農地利用適正化の取り組みは。

③鳥獣害防止事業の現状と今後の取り組みは。鳥獣被

害対策実施隊の活動と成果は。

④ICTを活用した電気柵や捕獲わな、センサーカメラの導入は。

### 答 就農者支援を推進

**山下市長** ①国の青年就農給付金制度は、年間150万円を最長5年間支給。本年度は27人が対象。市単独制度は30歳未満の後継者に月額3万円、最長5年間支給するほか、インターンタイン就農者にそれぞれ年間100万円・50万円を最長2年支給する制度がある。

②担い手への農地集積は29年1月末現在、農地中間管理事業で73件、11畝。農地利用集積事業で216件、32.1畝。合計で289件43.1畝。農業委員のパトロール、年1回の利用状況調査を実施し、遊休農地にならないよう指導している。

③27年度の農業被害は24畝、2,560万円。シカの捕獲数は前年の2倍強に急増。鳥獣被害対策実施隊は延べ48人が出動し、捕獲・檻の

設置・見回りを行い、成果を上げている。

④先進地の取り組みを注視している段階だが、囲いわなの設置に前向きな地区もある。実証実験について関係機関と協議したい。

### 問 公営企業は

**前島議員** ①水道事業の赤字の原因と現状は。

②温泉給湯事業の赤字の原因と現状は。

③水道事業の一般会計繰り入れと料金の見直しは。

### 答 料金改定は避けられない

**山下市長** ①給水単価に比べ供給単価が低く、給配水管の老朽化による維持管理費の増加が原因。今後、料金改定を見据え、財政基盤の強化を図りたい。

②春日居の温泉給湯事業も水道事業と同様、構造的課題を抱えている。

③一般会計による赤字補填の現状を打破するには、早急に料金改定の必要がある。



## 日本共産党

渡辺正秀 議員

### 問 憲法遵守、市長の所見を問う

**渡辺正秀議員** 公務員は憲法遵守を宣誓して入職する。まず行政のトップが宣誓する必要はある。憲法の理念実現は道半ば、憲法を生かすことが必要と考えるが、市長の所見を伺う。

## 代表質問



**答** 遵守は当然のこと

**山下市長** 日本国憲法ほどの法律よりも上位にあり、国民の権利と自由を守るため定めた決まり。特別職の首長が憲法遵守を宣誓することは必ずしも必要とは考えないが、行政職のトップとして遵守は当然のことと認識している。公務員は全体の奉仕者として憲法を遵守し、その理念を生かすことに努めながら、業務に取り組んでいると考える。

**問** 地方自治について  
の所見は

**渡辺議員** 憲法は地方自治の組織と運営は、「地方自治の本旨」に基づいて、法律で定めるとしている。重要案件には、住民自身が決定を下せる住民投票制度が必要だ。「住民投票制度」「市民の声を聞く制度」の確立について市長の所見を伺う。

**答** 議会制民主主義が  
中心

**山下市長** 憲法に規定されている「地方自治の本旨」は、住民自治と団体自治の二つの意味において地方自治を確立することと理解している。住民自治について、憲法は自治体の長と議会議員の直接公選制を定め、地方自治法では住民の直接請求権を定め、住民自治の原則を具体化している。住民投票制度はもろもろ議論があるが、まず議会制民主主義が十分機能するよう、執行と議会の互いの努力が重要。必要に応じ直接市民から意見を聴く機会を設ける。

**問** 住民本位・効率的  
な組織改革は

**渡辺議員** ①合併以来、行革路線に基づき住民に対する責任を十分考慮することなく、組織と業務の変更が行われてきた。行政の任務と組織のあり方についての所見を伺う。  
②地域包括センターは、高齢者をはじめ住民の暮らし

を支える中心であり、ネットワークづくりと活用、総合相談業務を行う。まさに行政の任務であり、一方、外部委託では公平性、非営利性が担保されない。直営として支所に併設する考えは。ケアマネージャーや社会福祉士の確保は、当面他の法人との交流人事で可能だ。

**答** 信頼される  
組織を目指す

**山下市長** ①行財政改革を推進する中で、合併によるスケールメリットを生かし、業務を効率的・効果的に集約し、組織のスリム化を図ってきた。職員一人ひとりの資質や専門性を高め、さまざまな地域の課題に柔軟に対応できる組織づくりを進める。  
②高齢人口がピークになる2025年に向け、地域包括支援センターを市内3カ所とする検討を進めてきた。2カ所を外部委託し、継続的に専門職を確保する体制が整った。定期的な指導に努める。

**問** 農業委員会の  
見直しは

**渡辺議員** 農業委員会法の改正に伴い、農業委員会制度の見直しが行われる。農業委員の定数減、公選制から任命制への変更などで「農地の番人」の役割が奪われ、国の農地利用の最適化政策の実行部隊にしようとするものだ。農政部会は廃止されるのか。

**答** 番人の役割は継続

**山下市長** 担い手への農地集積、耕作放棄地の解消、新規参入促進が改正の趣旨。「農地の番人」の役割は変わらないと考えている。委員数は半減するが、農地利用最適化推進委員が新設される。農政部会は廃止されるが、農業委員会が役割を担い、関係行政機関に意見・要望していく。

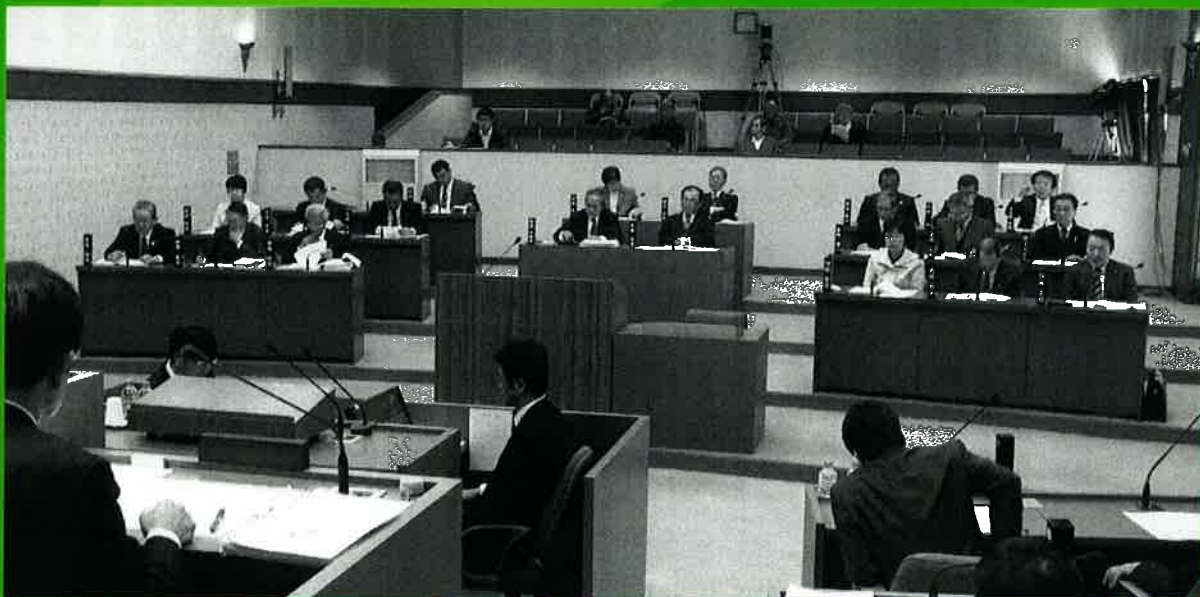


3月  
定例議会

市民の声

# 一般質問

3月定例議会では、10人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたずねました。  
以下は質問と答弁を要約したものです。



## 問 移動困難者の支援は

### 答 地域ニーズの把握に努める



河野智子議員  
(日本共産党)

**河野智子議員** ①デマンドタクシーの登録状況・利用状況、年間経費は。  
②一宮循環、境川巡回、芦川バスの利用状況、年間経費は。

- ③市営バス等の地域拡大予定は。
  - ④低床式バス導入の考えは。
  - ⑤高齢者外出支援助成事業の拡大は。
  - ⑥運転免許証自主返納事業の内容は。
- 小澤経営政策部長** ①登録者数は2,587人、4月から12月までの利用者数6,564人。年間経費は合計で1,108万円の運行委託料を支出。
- ②3路線の延べ利用者数1万8,800人、27年度決算額2,482万円。
  - ③境川の交流センター開設に伴い、境川巡回バスの運行を拡大する予定。
  - ④ジャンボタクシーが基本、現在は考えていない。

## 問 生活保護行政は

### 答 耳を傾け思いに寄り添う

- ⑤1人暮らし、高齢者世帯の75歳以上の市民税非課税者が対象。拡大は利用状況を見て検証する。
- ⑥運転免許証自主返納者にタクシー回数券1万5千円分を交付(1回限り)、返納者への恒久的な支援は考えていないが、引き続き検討する。

**河野議員** 生活保護行政の申請者や受給者の人権を尊重し、困った人を中心に寄せた対応をしているか。

**風間保健福祉部長** 生活保護制度は、持てる資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、困窮の程度に応じて必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長する最後のセーフティネット。市は生活保護申請者・受給者の訴えに耳を傾け、思いに寄り添った生活保護行政を心がけている。

**問** 笛吹市消防団員の確保は

**答** 消防団・行政区と連携・協力



神澤敏美議員  
(笛新会)

**神澤敏美議員** 消防団員は地域住民の生命と財産を守り、昼夜にわたり防火・防犯・水防に尽力している。各自自治体は地域を守る消防団員の確保が困難で、企業との提携も視野に試行錯誤されているが、団員確保に早急な対策が必要だ。

- ①本市では7分団85部(内女性1部)、1,753名が団員の定数となっているが、現状の団員数の状況は。
- ②各分団は毎年退部団員に合わせて新入団員確保に努力しているが、新入団員の確保状況は。
- ③県は消防団員や家族が飲食店などで特典を受けられる消防団員サポート事業の取り組みを始めた。団員確保のため、事業の導入をする考えは。
- ④防災教育と消防団の役割啓発事業で、団員確保を図る考えは。

**雨宮総務部長**

①定数1,753名

に対し現員数1,713名、97.7%の充足率。今年度から導入した機能別消防団員は32名、女性消防団員は7名。

②退団部員と同数の新入団員は確保できているが、定数には達していない。今後、消防団・行政区とも連携・協力し、消防団員確保に努める。また平成29年度は包括連携協定を締結した県内大学と協力し、「学生防災サポーター」を新しく機能別消防団員として任命し、災害に備えた体制づくりを行っている。

③市では現在消防団サポート事業を実施していないが、29年度に事業所を募集し、県のサポート事業と連携を図り、より有効性のあるサポート事業を展開していきたい。

④児童・生徒への防災教育は、小学校への防災講座や学校での防災訓練を通じ、災害の知識と防災の教育を行っている。消防団の役割の啓発は、行政区の役員には防災訓練の説明会や防災リーダー研修会などで、災害時の消防団の役割の重要性について説明を行っている。

**問** 市税・公共料金の公平負担は

**答** 滞納整理の推進で着実に減少



神宮司正人議員  
(笛新会)

**神宮司正人議員** ①固定資産税の滞納状況と滞納額はどのくらいあるか。②公共下水道の普及率・加入率と今後の計画。未納・滞納の状況は。③水道料未収率と未収金・滞納金はどのくらいか。④入湯税納入率と未収金・滞納額は。⑤給食費の滞納状況と滞納額は。⑥都市計画税の予定試算額は。

**雨宮総務部長** ①滞納の割合は現年度分4.7%、過年度分83.9%で、全体では19.9%。滞納繰越額は7億8千4百万円。滞納整理推進で、毎年着実に減少している。

②普及率63.2%、2,012戸が整備済み。都市計画決定した計画区域のうち、国認可区域を順次施工。滞納は全体で10.9%。

③未収金は全体で12.6%、滞納整理推進で毎年減少している。

**問** 市有地の有効活用は

**神宮司議員** ①市保有公共用地の内、民間で活用できる箇所数は。

②今後、市保有の用地を民間等に払い下げ、賃貸等で活用する考えはあるか。

**答** 払い下げ可能財産を調査

**雨宮総務部長** ①市が保有する公共用地のうち、民間活用の対象となる土地(普通財産)は約700筆で、面積は約180万平米、うち400筆は行政区の管理土地。現在山林を除く未利用地調査を実施し、現状把握に努めている。

②現況調査しているが、払い下げ可能財産を洗い出し、一般公募入札等を利用し、土地活用を進める。

## 問 エコフレオレスト境川の課題は

### 答 徹底指導と減車化を要望



岩沢正敏議員  
(笛新会)

**岩沢正敏議員** 昨年11月から甲府・峡東地域ごみ処理の試運転が始まり、4月から本稼働する。

①ごみ収集車の業者への行政指導は、②甲府・山梨・甲州各市に減車化を要望すべきでは。

#### 鶴田市民環境部長

①公害防止協定で、交通法規を遵守し安全を第一に収集運搬を行うとする車両対策を明記、徹底指導が行われている。

②搬入台数の削減も明記されており、減車化もごみ減量と比例することから、構成3市のごみ施策の取り組みと併せ、交通安全の確保と減車化に努めるよう要望していきたい。

### 問 リニア新幹線建設は

**岩沢議員** 2027年に東京・名古屋間のリニア新幹線運転開始が発表

された。議会も実験線活用と影響対策推進のため特別委員会を設置し研究・協議をしていく。

①側道設置の県の補助制度内容は。②防音フード設置要望はJR東海から返答はないが、市の見解は。

### 答 騒音対策はJRに要望

#### 小澤経営政策部長

①県が市町村に貸し付ける市町村振興資金を活用し、沿線の市町が行う側道の整備、公共施設の移転整備費用について、補助金や起債以外の市町の負担分に対し、元利補給のある貸付枠を設けるもの。元利補給率は50%の予定。

②リニア新幹線の騒音規制は、軌道から400m範囲で住居地域を70デシベル、それ以外を75デシベルとする基準値が示されている。JR東海からは、沿線地域の基準値の指定を受け、防音フードの設置も含めた騒音対策が示されると考えられるが、県の地域指定作業の完了まで時間を要する状況。きめ細かな対応と説明をJRに求めていく。

## 問 消防職員研修と資格取得は

### 答 豊富な経験と判断力が必要



中村正彦議員  
(誠和会)

#### 中村正彦議員

①高度な技術を修得してきた職員がいるが、修得のため

の派遣など、教育訓練の実績と今後の計画はどのようになっているのか。

②一般教育の内容と実施状況は、どんな計画でなされているか。

③消防職員の各種資格取得の状況、実績・費用負担・取得期間は。また、救急救命士の資格取得人数実績は。

④消防職員が狩猟免許を取得し、対応してもらおう考えはないか。

#### 植村消防長

①県消防防災航空隊に1人の職員を派遣している。救助や救急隊員の資格を有し、豊富な経験とすぐれた判断力、体力・技術を有し消防長の推薦が必要。

②消防本部の内部で行う教育訓練で、年間教育計画を作成し、活動技術や機器操作、応用訓練などを実施。

③53人が大型免許取得。梯子車、救

助工作車、化学車などで、順次取得している状況。公費で負担し救急救命士資格取得者は現在25人。

④交代職務の中での鳥獣駆除活動は難しいが、職員に呼びかける。

### 問 行政区からの

#### 地域要望実現は

**中村議員** ①28年度の全地区要望件数と実現件数、実現率・実績額は。

②区長会で要望内容の共通認識が必要だが、実施する考えは。

③地区要望実現の方向性や仕分け基準など、検討する考えは。

### 答 計画的な対応に努める

#### 小澤経営政策部長

①要望件数737件に対し実施件数は423件、実施率57・4%。実施額は5億7千万円。

②町別区長会で共通認識が必要、報告方法を検討し早期に対応する。

③規模や内容に応じて優先順位をつけ、対応している状況。財政的な制約もあるが、計画的な対応に努める。

問 子育て環境の充実整備は

答 ホームスタート事業等を行う



武川則幸議員 (笛新会)

**武川則幸議員** ①延長保育、放課後児童健全育成、ファミリーサポートセンターなどの子育て支援事業を実施しているが、進捗状況は。

②放課後学童保育の申請数と、施設新設の考えは。

③学童保育クラブのおやつ代対応は。

④公立小・中学校の給食費を無償化する取り組みは。

⑤学校数と児童・生徒数の今後の見込み、学区見直しは。

**風間保健福祉部長** ①延長保育事業は18カ所の保育園で実施、567人と昨年度を超えている。他の事業も会員数・活動件数が年々増加。ホームスタート事業や子育て短期支援事業も行っている。

②市内10カ所、26クラブ1、1344人の定員に対し1、194人が申請、児童数減少で施設の新設は難しい。

③不特定多数の利用児童の健全育成の観点から「館内飲食禁止」が原則。おやつ提供は行っていない。

④財政状況を考えると実施は困難。

⑤2015年の3、172人から、10年後には約300人、20年後には約700人減少する見込み。学区見直しは公共施設等総合管理計画に基づき検討する課題。

問 市道(1-24号線) 拡幅工事は

**武川議員** 拡幅整備で緊急車両の進入等、都市防災機能の強化や、道路交通の安全・利便性が高まり、国道から市南部への連絡強化が図られる。今後の取り組みは。

答 30年以降に工事着手

**河野建設部長** 地域の重要道路として拡幅の必要があると判断し、約400mの拡幅整備を行ってきた。来年度から用地測量に着手し、用地交渉のあと平成30年度以降、順次工事に着手したい。

問 マイナンバー制度は

答 行政運営効率化に貢献



志村直毅議員 (笛政クラブ)

**志村直毅議員** ①通知カードの返戻件数が約2、500件(8.8%)の理由は。

②交付率約6%、今後の取り組みは。

③行政事務効率化の事例や、情報連携による実務上のメリットは。

④子育てワンストップサービスの準備状況と方針をどう考えるのか。

⑤制度の普及や周知等の対応は。

⑥コンビニエンス・ストアで取得できる証明書の種類を増やす考えは。

**鶴田市民環境部長** ①保管期間経過、転出であて所なし、本人の受取拒否。

②平日勤務で来庁できない方のため、休日交付を行う予定。

③情報照合や入力等の時間・労力が減り、行政運営効率化につながる。

④国から示される情報を確認しながら、対応を検討していきたい。

⑤制度普及は市の広報誌やホームページで知らせる。短期間で市民に交

付できる組織体制を整え対応する。

⑥各証明書の交付枚数の推移や、コンビニ交付対応のシステム改修費用など勘案し、検討を進める。

問 地域共生社会づくりは

**志村議員** ①地域福祉計画に「我が事・丸ごと」の地域づくり、「地域共生社会」の実現を目指す明記を。

②障害福祉制度に共生型サービスが創設される。事業所等の見直しは。

③公営住宅のバリアフリー化は。

④障害者差別禁止や合理的配慮のための指針や条例制定の考えは。

答 国事業の動向を注視する

**風間保健福祉部長** ①計画のガイドラインの見直し等の検討が続けられる。国の動向等を注視していく。

②関係事業者の意向調査含め検討。

③新たに整備する公営住宅は、国の基準により設計し、配慮する。

④昨年3月に職員対応要領を策定。指針や条例制定に取り組んでいく。



## 問 芦川小学校の特認校指定は

### 答 慎重な検討が必要



野澤今朝幸議員  
(笛新会)

- 野澤今朝幸議員** ①学校選択制による特認校制度とは何か。
- ②全国で特認校に指定され、指定を受けて運用されている学校数は。
- ③甲府の千代田小が指定されたが、芦川小と共通性が高い。その背景は。
- ④現状改善と市の教育に幅をもたせるため、特認校に指定すべきでは。
- ⑤特認校指定で児童数確保は、若者への移住・定住に寄与するかどうか。
- 野田教育部長** ①通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの。
- ②24年度調査では小学校103校、中学校45校と報告。県内では28年度時点で制度利用の市町村はない。
- ③児童数減少による存続の危機から、増加を目指した取り組みと聞く。
- ④芦川小も他の小学校とのかかわりを考え、慎重な検討が必要。

## 問 桃サミット今後の取り組みは

### 答 市の経済発展につなげる



荻野謙一議員  
(笛新会)

- ⑤児童数確保だけでなく、芦川小ならではの特色ある教育活動を検討することが、最も重要と考える。
- 問 市内小中学校の芦川グリーンロッジの活用は**
- 野澤議員** ①小中学校の利用状況は。
- ②野外体験、宿泊学習の年間支出は。
- ③ロッジ活用を妨げる原因はなにか。
- ④体験宿泊学習の場として、ロッジの活用を図る考えは。

### 答 青少年団体の活用を期待

- 野田教育部長** ①市内の小中学校による利用はない。
- ②学校や学年によりさまざま、一人あたり3千〜5千円くらい。
- ③校外学習等は日常の学校生活とは違い、特別な体験をする場でもある。体験学習や野外活動のプログラムを柔軟に選択できる施設を望んでおり、少年自然の家などの施設を選ぶことが多いと考える。
- ④育成会やスポーツ少年団など、青少年団体での活用を促進したい。

## 問 四日市場市営住宅建設凍結を

### 答 建設凍結を

- 荻野議員** ①当初建設計画の事業予算額の詳細は。
- ②現在までの進捗状況は。
- ③発注状況と発注予算額は。
- ④完成までの発注状況と金額は。
- ⑤この事業が本当に必要か、市長には凍結の判断があるか。

### 答 安全・安心な住居提供は必要

- 河野建設部長** ①建築工事費や土地購入費など、総額は8億6、500万円を見込む。
- ②27年度に測量業務・基本設計業務を完了、今年度は入居者の移転・解体工事を終了。現在施工中の造成工事と実施設計は3月末に完了予定。
- ③委託事業4件で合計1、716万円、委託事業3件で合計2、683万円、解体・造成工事が3、428万円。
- ④総額7億1千万円を見込む。
- ⑤建て替えて安全安心な住居提供は必要な施策、凍結の考えはない。

問 知育向上とブックスタートは

答 ブックプレゼントを実施する



中川秀哉議員  
(公明党)

中川秀哉議員 ①市内全図書館の貸し出し数の推移は。

- ②読み聞かせや読書運動の効果は。
- ③デジタル教科書への取り組みは。
- ④ブックスタートの取り組みは。
- ⑤保育園と学校間の情報交流は。

野田教育部長 ①27年度54万6千冊、21年度の70万冊をピークに減少傾向が続いている。

- ②図書館内での開催や出向いての開催合計は、全館で年間650回程度。
- ③学校からデジタル教科書使用の要望はない。子どもの状態や保護者の要望、担当教師の意見などを踏まえ、必要があれば対応したい。
- ④離乳食教室や5歳児健診の際に、司書やボランティアによる読み聞かせ、本の紹介・選書リストの配布、図書館イベント紹介などを行っている。

ブックプレゼントは、来年度からの実施に向け準備を進めている。  
⑤保幼小中高連携会議で、教師間の情報交換や交流を行い、必要に応じ入学前に情報交換を行っている。

問 NTT跡地と

都市計画道路方針は

中川議員 ①都市計画道路の整備状況は。

- ②未整備路線の今後の取り組みは。
- ③国・県等関係機関との協議対応は。
- ④計画区域住民への周知と対応は。

答 住民と合意形成を図る

河野建設部長 ①都市計画道路は10路線を設定。4路線は整備済みで、県の事業主体が2路線、残り4路線が未整備の状況。

- ②評価に変動が生じていることから、現在、路線ごとの検証を進めている。
- ③都市計画道路見直しガイドラインに基づき、県と協議を進めている。
- ④住民の意見聞き、合意形成を図る。

議会日誌 GIKAI diary

12月 December

- 4日 清流杯争奪少年剣道大会
- 7日 第4回定例会（開会）、議会広報編集委員会
- 8~9日 第4回定例会（一般質問）
- 13~14日 常任委員会
- 15日 シャインマスカット「長期貯蔵用氷感コアシステム設置」完成式
- 16日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会
- 18日 笛吹市小学生・中学生俳句大会表彰式
- 19日 議会運営委員会、全員協議会、第4回定例会（閉会）
- 20日 議会広報編集委員会
- 22日 東八代広域行政事務組合議会
- 26日 東山梨行政事務組合議会
- 27日 釈迦堂遺跡博物館組合議会臨時会

1月 January

- 4日 仕事始め式
- 5日 平成29年新春交歓会・受賞者祝賀会
- 6日 議会広報編集委員会
- 8日 市消防団出初式、成人式
- 10~11日 東山梨行政事務組合議会議員研修
- 11日 平成29年交通安全祈願祭
- 15日 清流杯争奪高等学校・中学校弓道大会
- 17日 甲斐国分寺跡・国分尼寺跡保存整備に伴う県外視察研修
- 18日 民生委員・児童委員協議会研修会

- 19~20日 東山梨環境衛生組合議会議員研修
- 24日 全員協議会
- 25~26日 3常任委員会合同視察研修
- 29日 保育所保護者連合会「親睦レクリエーション事業」
- 31日 農業委員会「新年会・意見交換会」

2月 February

- 1日 笛吹八代スマートIC地区協議会  
市長と「ものづくり企業」「経済懇話会」意見交換会
- 2日 県市議会議長会議員合同研修会
- 3日 春日山部屋力士による節分豆まき
- 9日 甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会研修
- 12日 山身連市町村議会議員懇談会、笛吹市社会福祉大会
- 13日 地下水資源保護審議会、東山梨行政事務組合議会定例会
- 14日 日本一早いお花見「ハウス桃宴」開園式
- 15日 議会運営委員会、全員協議会、境川観光交流センター視察
- 16日 東山梨環境衛生組合議会
- 17日 県後期高齢者医療広域連合議会、市土地利用審議会
- 22日 第1回定例会本会議（開会）、議会広報編集委員会
- 23日 「富士山の日」フェスタ2017、まちづくり座談会
- 24日 第1回定例会本会議（代表質問）
- 25日 NPO法人「学びの広場ふえぶき」設立10周年記念式典
- 27日 第1回定例会（一般質問）
- 28日 第1回定例会（一般質問）

# 3常任委員会合同視察研修報告

総務・教育厚生・建設経済常任委員会の合同視察研修は、1月25～26日の両日、東京都あきる野市、千葉県君津市、神奈川県藤沢市において視察研修を行いました。

## あきる野フィルムコミッション事業

東京都あきる野市 1月25日(水)

あきる野市は東京都の西部に位置し、平成7年9月に秋川市と五日市町が合併して誕生。

平成26年4月、映画などの撮影場所誘致や撮影支援を行う機関である、フィルムコミッション係を観光まちづくり活動課内に新設し、映像を活用した市内プロモーション活動に取り組んでいる。

市内イベント等を動画記録し後世に残すと共に、撮影した映像を編集し、あきる野フィルムコミッションの動画サイトにも上げている。あきる野市と笛吹市は環境に差はあるが、笛吹市も観光資源を

有効に活用し、その魅力を全国にどんな形で発信しなければならないか、改めて考えさせられた研修であった。



## 文化のまちづくり1%支援事業

千葉県君津市 1月26日(木)

君津文化の創造と市民交流推進を目的に、市民団体自らが企画運営を行う、新規・既存の事業を対象とするものである。

28年度に制度改正して補助対象者を拡大、従来は君津市民に限られていたが、高校生は他市民

でも市内の学校に通学していれば対象とし、若い人たちにも適用することになった。

本市との違いは、支援委員会のメンバー構成は市民が大半を占めていること。市側からは副市長、市議会から1人の2人だけ。市税1%支援であるが、君津市の自主財源は68%、市税は170億円になるが、補助金が多い年で3千万円、少ない年で3百万円くらいで、とても1億7千万円も出ていない。

課題は補助期間が終了した後、各団体が継続して事業を行うことができるのか、自立して活動していけるのか、君津市では80%以上の団体が事業を縮小しながらでも継続している。本市でも参考にする面はたくさんあると思う。



## 地産地消推進事業

神奈川県藤沢市 1月26日(木)

笛吹市の「農・畜産物販路拡大」や「食育」の参考にするため、藤沢市が実施している地産地消推進事業を視察研修した。

神奈川県の中央南部に位置する藤沢市は、南は相模湾を望み、北は相模原台地のなだらかな丘陵が続く、面積は約70km<sup>2</sup>、人口は約42万6千人で、首都圏近郊の観光・保養・住宅地として発展してきたが、平成21年9月に、農水産業の振興を図るとともに、安全で安心な食を市民の食卓に提供するため、市内の食品製造・販売・飲食など、食にかかわる者が率先して市内農産物を用い、さらに学校教育、生涯学習、福祉分野などあらゆる場に「食育」を推進する「藤沢市地産地消の推進に関

する条例」を制定し、地域内での消費を推進している。

笛吹市では、市内農産物直売所などで地産地消に取り組んでいるが、藤沢市のようにしっかりと組織・機能を持つ体制を整え、地産地消へ取り組む必要があると感じた。



# 山梨県市議会議長会議員合同研修(後期)

平成29年2月2日(木)

今回は「地方議会人の挑戦―議会改革の成果と課題」と題し、中邨章明治大学名誉教授が講演されました。講演の概要は次のとおり

現状の議会は、首長と1・1ではなく、1と1/4(4分の1)。これを2元制にしていくのが議会改革。

議員の不祥事等で地方議会は冬の時代。政務活動費は月1万円レベルが多いが、住民は国会議員の歳費と同様に理解していることが多い。

今後の地方政治は、妥協と折衝の従来型政治が低下し、首長の好むガチンコ勝負が増加し、写り映えのする政治の重要性が高まっていく。

議会はもっと議決事件の活用を。例えば、分厚い地域防災計画に議会は出てこない。議員が災害時に関与するのは難しいが、これを議決事件化し、事前準備の段階ではしっかり議論で関わるべき。

議員の現状は、カネ、ヒト、時間がない「3ナイ議員」。



今後を考えたとき、現状のままなら定数削減の必要は少ない。しかし、立法機能の継続というシナリオを描けば、後方支援の強化と専門職化が必要で、議会事務局の充実も重要。議員のICT活用も不可欠で、議会広報の充実によって、定数削減も可能となる。

## 審査案件(人事)

### 黒駒山恩賜県有財産

#### 保護財産区管理会委員の選任

- 保崎 邦雄 (67) 御坂町尾山
  - 根津 善行 (76) 御坂町八千蔵
  - 保坂 弘治 (74) 石和町八田
  - 小池 洋一 (75) 一宮町末木
  - 堀内 好男 (85) 御坂町上黒駒
  - 三浦 光宏 (71) 石和町八田
  - 田中 征吉 (74) 一宮町市之蔵
- (平成29年4月1日〜4年間)

### 人権擁護委員の候補者の推薦

#### 人権擁護委員の推薦に

- 永井 公子氏を承認
  - 永井 公子 (72) 石和町松本
- (平成29年4月1日〜3年間)

### 副市長の選任

- 副市長に雨宮寿男氏を選任
  - 雨宮 寿男 (59) 御坂町夏目原
- (平成29年4月1日〜4年間)

### 固定資産評価員の選任

- 固定資産評価員に
- 萩原 明人氏を選任

- 萩原 明人 (62) 春日居町寺本
- (平成29年4月1日〜)

### 稲山恩賜県有財産

#### 保護財産区管理会委員の選任

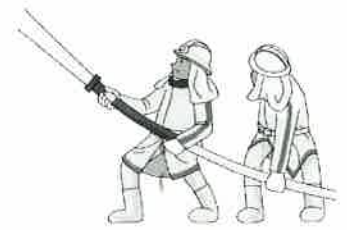
- 土屋 育夫 (68) 八代町米倉
  - 横瀬 公夫 (67) 八代町米倉
- (平成29年4月1日〜2年間・前任者の残任期間)

※年齢は議決日となります

# 委員会 レポート

## RE PO RT

### 総務 常任委員会



3月2～3日、9～10日、

14日の5日間、委員会を開催。付託された条例制定1

件、条例の一部改正5件、

一般会計補正予算1件、一

般会計予算1件、契約の締

結2件、その他案件1件の

計11件を審査し、賛成全

7件、賛成多数4件でい

ずれも原案のとおり可決す

べきものと決した。主な質疑

答弁は次のとおり。

#### 〈総務部所管〉

**Q** 都市計画税条例の一部改正で、課税特例を延長しとあるが、反対の声も非常に大きい。見解はどうか。

**A** 都市計画税が貴重な財源という認識に変わりはないが、1年の課税猶予の間に市も行革を徹底し、収納率向上等に努め、市民に説明し理解を深めたい。

**Q** 消防団活動推進事業で、

定員に満たない部の地域別または分団ごとの内訳は。

**A** 欠員数は御坂分団17、女性消防団員10、芦川分団9、春日居分団1、一宮分団が1名の減。

**Q** 団員報酬は条例で定められているが、排水機隊、機動隊と団員の差が開きすぎていて、今後の考えは。

**A** 国が示す報酬額を考慮し、合併後10年経過するので、全体を見直したい。

**Q** 分団運営交付金は条例に定められていないのか。

**A** 条例で定められていない。各分団長が集まった中で決定している。

**Q** 地方創生推進交付金の減額理由はなにか。

**A** 石和温泉街の近津川イルミネーションが前回は採択されたが、今回は採択さ

れなかったため減額。

**Q** 移住・定住促進事業の地域おこし協力隊員の報酬が減額されているが、協力隊員の構成と活動成果は。

**A** 2人の採用予定が4月に1人、12月に1人採用、4月から11月分の報酬の減額。総務省「全国移住ナビ」を通じた市からの情報発信アクセス数は、山梨県内で1位、全国で13位の成果。

**Q** 消費生活相談員の有資格者とはどういう資格か。

**A** 消費生活相談員としての国家資格。日本産業協会が付与する消費生活アドバイザー、日本消費者協会が付与する消費生活コンサルタントの資格を持つ方で、市は有資格者を嘱託職員として消費生活相談員に配置する予定。

#### 〈市民環境部所管〉

**Q** 消費生活相談員の有資格者とはどういう資格か。

**A** 消費生活相談員としての国家資格。日本産業協会が付与する消費生活アドバイザー、日本消費者協会が付与する消費生活コンサルタントの資格を持つ方で、市は有資格者を嘱託職員として消費生活相談員に配置する予定。

**Q** 繰越明許費の自家給油所の場所と大きさは。

**A** 場所は庁舎北側のなごみの湯の隣で、タンクが1万リットル、ガソリン6千リットル、軽油4千リットルの合計で1万リットル。

**Q** ドクターヘリRP調査手数料の、RPの意味は。

**A** RPはランデブーポイントで、ドクターヘリと救急車の待ち合わせ場所。ドクターヘリ着陸場所は笛吹管内で21カ所。RPは御坂のカムイスキー場駐車場と、エコフォレスト境川の多目的広場を検討中。

**Q** 消費生活相談員の有資格者とはどういう資格か。

**A** 消費生活相談員としての国家資格。日本産業協会が付与する消費生活アドバイザー、日本消費者協会が付与する消費生活コンサルタントの資格を持つ方で、市は有資格者を嘱託職員として消費生活相談員に配置する予定。

**Q** 消費生活相談員の有資格者とはどういう資格か。

**A** 消費生活相談員としての国家資格。日本産業協会が付与する消費生活アドバイザー、日本消費者協会が付与する消費生活コンサルタントの資格を持つ方で、市は有資格者を嘱託職員として消費生活相談員に配置する予定。

#### 【討 論】

・都市計画税条例は市民の反対の声が強い。十分な余裕を持ち、抜本的に廃止を含め再検討する必要がある。・昨年の予算・決算を見る

と、大きな食い違いがある。予算は総計主義で考えられるすべての歳入と歳出を入れ、1年間の予算を組み立てることになってはいるが、毎年、同じ予算の組み立て方をしている。

・土地売買契約の締結では、財源をどのくらい充てるのか、承認する上で必要になる。造るか、造らないかわからない状態で先送りして、土地だけ購入するのは判断材料に欠ける。等の討論がありました。

#### 〈消防本部所管〉

**Q** 繰越明許費の自家給油所の場所と大きさは。

**A** 場所は庁舎北側のなごみの湯の隣で、タンクが1万リットル、ガソリン6千リットル、軽油4千リットルの合計で1万リットル。

**Q** ドクターヘリRP調査手数料の、RPの意味は。

**A** RPはランデブーポイントで、ドクターヘリと救急車の待ち合わせ場所。ドクターヘリ着陸場所は笛吹管内で21カ所。RPは御坂のカムイスキー場駐車場と、エコフォレスト境川の多目的広場を検討中。

と、大きな食い違いがある。予算は総計主義で考えられるすべての歳入と歳出を入れ、1年間の予算を組み立てることになってはいるが、毎年、同じ予算の組み立て方をしている。

# 教育厚生 常任委員会

3月2～3日、9～10日、

14日の5日間、委員会を開催。付託された条例の一部改正4件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件、一般会計予算1件、特別会計予算5件、その他案件2件、請願1件の計17件を審査し、賛成全員13件、賛成多数4件でいずれも原案の通り可決・採択すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

## 〈保健福祉部所管〉

**Q** 100歳になる方に祝金を支給しているが、100歳の誕生日を迎える前に亡くなられた場合は。  
**A** 誕生日に達していても基準日（8月1日）を設け支給している。

**Q** ひとり親世帯第1子保育料軽減、寡婦控除のみならず適用に該当する市内対象者はどのくらいか。  
**A** 保育料軽減対象者は約90人が該当と試算。見なし適用対象者は10人程度。

**Q** なごみの湯の管理運営は、今後どう考えるのか。  
**A** 福祉施設も併用しているのでこのまま続ける。子育て支援にも活用したい。

**Q** 希望保育所へ入所できない方はいるのか。  
**A** 特に1歳児の入所希望が多い。29年度から公立保育所2施設の受け入れを拡大、第4希望でも入れなかったケースは11件。可能施設を案内して対応した。

## 〈市民環境部所管〉

**Q** ごみ袋作成は50・7%でできたが、当初実績と比

べて金額と枚数は。

**A** ごみ袋作成は5、400万円の予定だが2、700万円で落札。枚数は実績で45㊦を360万枚、20㊦を99万枚、10㊦を51万枚作成。

**Q** クリーンセンター事業の地域環境整備負担金は、地元区に出しているのか。  
**A** 八代町増田区・砂原区に、125万円ずつ整備負担金として出している。

**Q** 地域振興施設事業の修繕費に対し、修繕が発生した場合の負担は。  
**A** 修繕費は全て4市負担。

**Q** 国民健康保険の短期保険証や資格証明書で受診する方の人数は。  
**A** 長期保険証は9、621世帯、短期保険証は1、389世帯、資格証明書は294世帯。

**Q** 学校給食センターの建設用地調査業務の内容は。  
**A** 用地測量や環境調査、土壌調査など。

**Q** 土壌調査の深さは。  
**A** もともと農地のため、一番簡易的な調査になる。

**Q** 特殊建築物調査は一括契約のほうが安いのでは。  
**A** 国、市の補助金で建てているので、用途変更後、公民館として利用することで花鳥児童館は竹居区、御坂東部コミュニティ施設は若宮区に了解を得ている。手続完了後に各区へ移管。

**Q** 成人式を1カ所開催としたが、どうであったか。  
**A** 受付方法に問題があったが、概ね好評であった。実行委員約30人にアンケートを実施しているので、その結果を次回に向けて活かしたい。

**Q** 契約担当と協議する。  
**A** 学校給食センター建設事業に、工事請負費1億円計上だが内容は。  
**A** 総額10億円のうちの1億円、建設、設備、電気の3つに分ける予定。概算で本体設計はこれからとなるため詳細はその後となる。

**Q** 29年度に具体的な工事に入るのか。  
**A** 29年度中に発注できる可能性があり予算計上。

**Q** 花鳥児童館及び御坂東部コミュニティ施設の運営は、29年度は直営だが、今後の考えは。  
**A** 国の補助金で建てているので、用途変更後、公民館として利用することで花鳥児童館は竹居区、御坂東部コミュニティ施設は若宮区に了解を得ている。手続完了後に各区へ移管。

**Q** 成人式を1カ所開催としたが、どうであったか。  
**A** 受付方法に問題があったが、概ね好評であった。実行委員約30人にアンケートを実施しているので、その結果を次回に向けて活かしたい。



小規模多機能型居宅介護施設を視察



### 〈産業観光部所管〉

**Q** 商店街LED化等推進事業の、補助金172万円の減額理由は。

**A** 当初3カ所の希望で予算計上。1カ所のみ実施で、他の2カ所は事業変更や実施に至らず減額。希望地区とは別地区に事業打診したが、事業費の2分の1が自己負担などの理由で事業が進まず減額。

**Q** 農産物等消費拡大宣伝事業で、29年度トップセールスの日程は。

**A** 6月25、26日で「東京大田市場」、7月6、7日（予定）「大阪」、果樹最盛期の時期に、JAふえふきと連携し強力に進める。

**Q** 優良農地等確保促進事業、農振・農用地システムに伴い、農振除外の計画は。

**A** 29年度に農業振興地域整備計画の随時見直しを予定。本市では申請者と十分面談し、申請にいたるよう指導する。夏から相談会を実施し、秋に申請を行うよう考えている。県と協議を行い同意後に、農振計画変更の公告縦覧を行い、30年

3月2～3日、9～10日、14日の5日間、委員会を開催。付託された条例制定1件、条例の一部改正2件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算1件、事業会計補正予算3件、一般会計予算1件、特別会計予算2件、恩賜県有財産特別会計9件、事業会計予算3件、市道認定1件の計24件を審査し、賛成全員24件でいずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決した。主な質疑答弁は次のとおり。

度に許可を予定している。

**Q** 多面的機能事業では、農地に隣接する住宅街の水路の清掃活動等が対象になるのか。

**A** 農振・農用地が加入でき、活動は用水路、農道の清掃・整備が対象。

**Q** 観光宣伝事業「桜植替工事900万円」に伴う、植え替えの方法は。

**A** 近津川の桜の植え替え工事。地域・関係者と十分協議したい。植え替えの桜は大きいもの10本程度。

### 〈建設部所管〉

**Q** 地籍調査事業委託料、

9割近くが減額だが理由は。

**A** 地権者の一部同意が得られず事業が進まなかった。地域全体の同意が得られるよう今後も努力する。

**Q** 空き家調査業務委託の進捗状況は。

**A** 空き家候補の抽出は2、656軒、今年度は現地調査を行い、約312軒を空き家として認定予定。

### 〈公営企業部所管〉

**Q** 公共下水道事業で水道料の徴収率と停水件数は。

**A** 2月末現在の徴収率は96・1%。前年度と同様の状況。停水執行は167件、

料金納入で半数が開栓。

**Q** 下水道管渠布設工事費5千万円の減額原因は。

**A** 入札差金と石和町山崎地内の工事計画だが、労働橋の架け替え工事で、交通状況等を配慮し見送った。

**Q** 下水道認可区域及び下水道将来計画の考え方は。

**A** 平成18年に旧町村の計画を集約し「笛吹市公共下水道基本計画」とした。全体計画3、299ヶ、事業認可計画2、512ヶ、現在の供用開始面積が2、012ヶ、ここ数年の事業実施が年間10ヶほどで、認可計画面積を完了するには、長期間を要する。見直しは県、甲府市、山梨市、甲州市と調整し、協議する必要がある。

### 〈農業委員会所管〉

**Q** 農業委員と農地利用最適化推進委員の能率給は。

**A** 国からの農地利用最適化交付金をもとに、報酬に能率給を上乗せ。農地利用の最適化にかかる活動と成果の実績を活動日誌に整理し事務局に提出。活動日数・時間内容を精査し支給。



市道認定の現場視察状況



## このころ思うこと



八代町北  
篠原 知貴

移住先希望ランキングで山梨県が、長野県を逆転して2年ぶりにトップに返り咲いた。中高年に人気が高いとのことだ。知り合いのご夫婦も数年前、ご主人が定年退職を迎えるころに東京から移住してきた。奥さんは近くの耕作放棄地を借り受け、何種類もの野菜を作っては、ご近所に分けてくれる。桃源郷とでも言うべき笛吹市は、首都圏へのアクセスも良いし、第二の人生には最高の環境なのだが、現実には移住者はそう多くはない。住んでみたいと希望しても手ごろな物件はそう簡単には見つからないのが現状だ。建売住宅などは2階建てが多く、中高年向きの落ち着いた住まいは見当たらない。

ところで山梨県には他にも日本一がある。空き家率である。2位の長野県が19・8%であるのに対して、山梨県は22%とダントツである。不動産住宅サイトですり町村別空き家率を見ると、笛吹市は全国72位となっている。全国市町村ランキングだからこの順位は上位ということになるだろう。

「人間到る処空き家在り」だと言うのに、都会の中高年が山梨に終の棲家をとっても手ごろな家が手に入らない矛盾。移住希望者ナンバーワンという相反する現象を好機と捉え、解決するすべはないかと思ったりするこのころである。

## 6月定例議会を傍聴してみませんか！

議会運営内容が確定後、市ホームページ上で会期日程・質問内容（表題）を公開しております。参考にご覧ください。

### 平成29年 第2回定例会本会議の日程（予定）

- 6月8日（木） 午後1時30分～ 本会議（初日）市長行政報告・議案説明・質疑・付託
- 9日（金） 午前10時～ 一般質問
- 12日（月） 午前10時～ 一般質問予備日
- 23日（金） 午後2時30分～ 本会議（最終日）委員会審査報告・質疑・討論・採決

※日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。  
傍聴席へは先着順となります。（傍聴人定員42名）

NNS・甲府CATV（10チャンネル）で、市議会の録画中継が見られます。  
放送日時は決まり次第、市ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

新年度を迎え、新市長によるかじ取りが本格的に始まりました。今年の春は、山廬俳諧堂の竣工、笛吹八代スマートインターチェンジの開通、境川観光交流センター「寺尾の湯」のオープン等、新事業が次々と開始されました。笛吹市の観光資源として、大勢の方に利用していただきたいと思えます。

春から新緑のころ、1年で最も過ごしやすい季節となります。各地でさまざまな行事が行われますので、豊かな自然にふれ、市民の交流が図られることを願います。

議会広報編集委員会  
副委員長 河野 智子

### 表紙説明

## 笛吹八代スマートインターチェンジ開通

県内2カ所目となるスマートインターチェンジ（SIC）が3月26日に開通となり、知事、市長、市議会議員ら関係者約150人が出席し、記念式典が行われた。地域の観光、産業振興に大きな活力をもたらすことが期待される。

（撮影地：笛吹市八代町地内）